

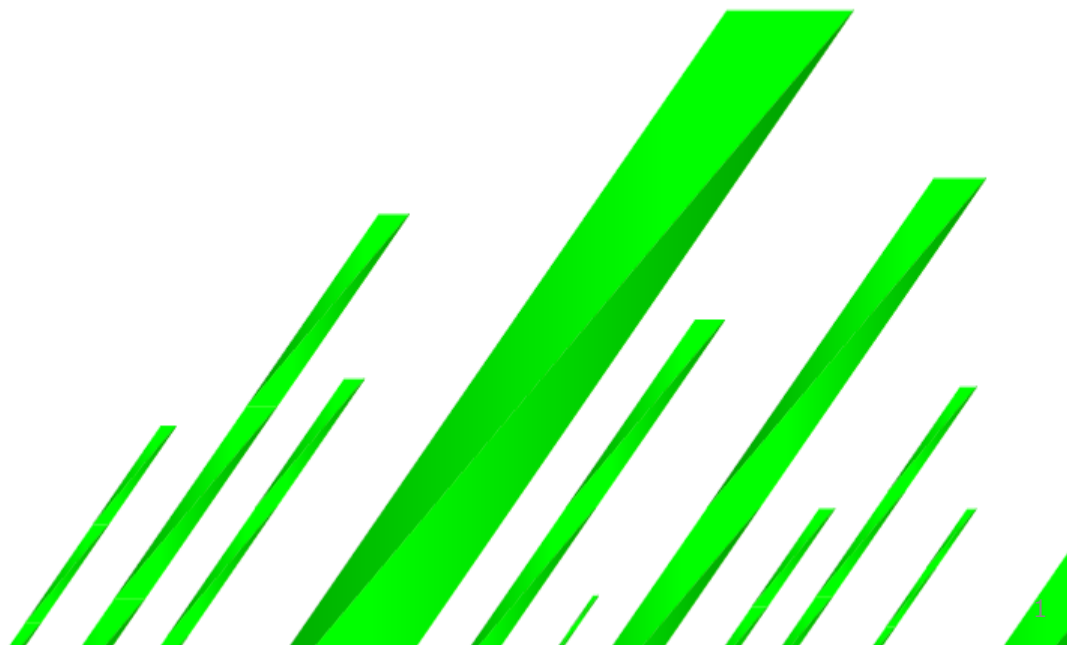
# 様式記載マニュアル 様式4： 基準年度排出量等報告書

---

GXリーグ事務局

2023年7月 初版発行

2024年4月 改訂



# 対象となる様式

- 以下の様式について、その記載方法について解説・補足します。
- 各様式はGXリーグ公式HPに掲載された最新版の使用をお願いいたします。

様式番号	様式名	提出対象企業 (必須/任意)	複数 種類あり <sup>*1</sup>	提出期限 <sup>*2</sup>
様式 1	参画申込書	対象外	-	-
様式 2	GXリーグ参画企業に求める取組に関する報告書	全参画企業 (必須)	○	2024年6月28日
様式 3	組織境界の設定に関する説明書	全参画企業 (必須)	-	2024年6月28日
様式 4	基準年度排出量等報告書	全参画企業 (必須)	○	2024年6月28日
様式 5	排出量実績報告書	全参画企業 (必須)	○	各実績年度の期限
様式 6	基準年度排出量等加算・控除申請書	参画企業 (任意)	○	2024年6月28日
様式 7	構造的変化に関する申請書	該当する参画企業 (必須)	-	適時報告
様式 8	削減目標変更申請書	該当する参画企業 (必須)	-	適時報告
様式 9	温室効果ガスの回収量の算定方法に関する申請書	該当する参画企業 (必須)	-	適時報告

\*1 参画企業の事業形態や基準年度の設定方法によって複数の種類から選択を行う様式

様式 2 : 事業会社向け/金融機関向け から選択

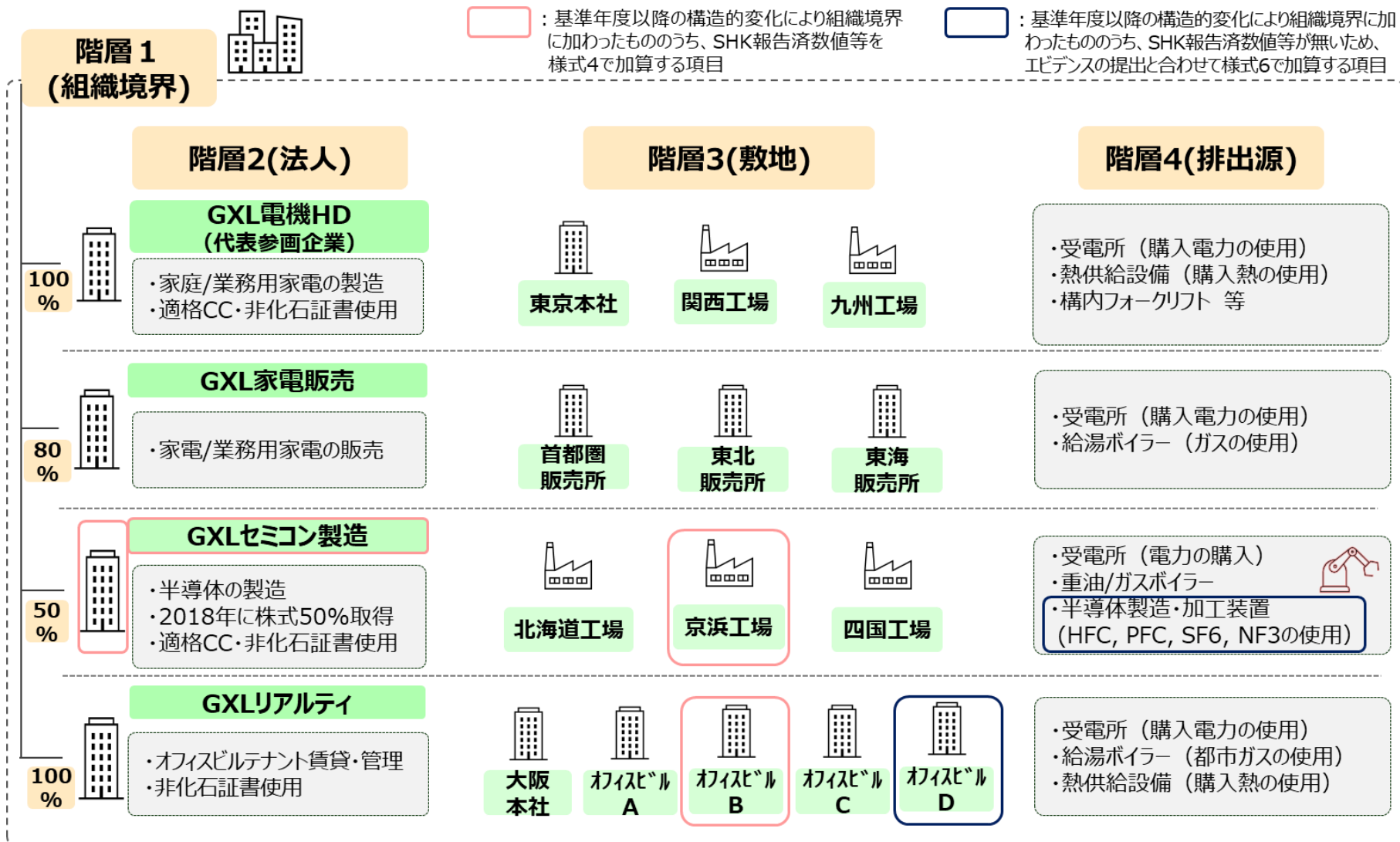
様式 4 : Group G/X, 単年度/複数年度, 法人数に応じて選択

様式 5 : Group G/X, 集計機能付き (数地境界数10/50/100) から選択

様式 6 : 単年度/複数年度, 法人数

\*2 2023年度参画企業の様式2、3、4、6の提出期限は2023年9月29日

# 【参考】記載例の想定ケース



## 様式4 | 基準年度排出量等報告書

- Group G/X、設定する基準年度等や組織境界に応じて対応する様式の種類を選択ください。
- Group G企業用・複数年度用（★）については、超過削減枠申請時に提出が必要となる直近排出量の提出にも用いられます。

### 様式4 基準年度排出量等報告書

#### Group G企業用

Group G向けの様式：以下6種類

単年度用（10法人用）

… 2013年度を基準年とする場合で組織境界に含める法人が10社以内の場合

単年度用（50法人用）

… 2013年度を基準年とする場合で組織境界に含める法人が50社以内の場合

単年度用（100法人用）

… 2013年度を基準年とする場合で組織境界に含める法人が100社以内の場合

複数年度用（10法人用）★

… 2013年度以外を基準年とする場合で組織境界に含める法人が10社以内の場合

複数年度用（50法人用）★

… 2013年度以外を基準年とする場合で組織境界に含める法人が50社以内の場合

複数年度用（100法人用）★

… 2013年度以外を基準年とする場合で組織境界に含める法人が100社以内の場合

#### Group X企業用

Group X向けの様式：以下2種類

単年度用

… 2013年度またはそれ以外の年度で単年度での設定を行う場合

複数年度用

… 2013以外の年度で複数年度の設定を行う場合

## 様式4 | 基準年度排出量等報告書

---

1. Group Gの記載方法
2. Group Xの記載方法

# 様式4 | 基準年度排出量等報告書 - Group G向け単年の場合 (シート1)

## 1. 基準年度排出量を申請する場合

様式4 (Sheet1)

基準年度排出量等報告書一単年

2023年6月14日

GXリーグ事務局 殿

■ 参画企業	企業名:	株式会社GXL電機HD
	法人番号:	1111111111111
■ 算定・報告担当	責任者	サステナ太郎
	部署名	経営企画部
	役職名	課長
	連絡先 (メールアドレス)	<a href="mailto:gxl-elec-hd@gxl.co.jp">gxl-elec-hd@gxl.co.jp</a>
	連絡先 (電話)	090-1111-2222

### 1. 申請対象となる排出量

基準年度排出量

### 2. 基準年度に関する情報

(1) 基準年度 2013 年度

### 3. 基準年度排出量に関する情報

(1) 国内直接排出量 97,457 tCO<sub>2</sub>e(2) 国内間接排出量 234,564 tCO<sub>2</sub>e

- 様式4の提出時、SHK制度報告書または保証報告書等の証憑の添付が必要です。
- シート1が未入力の場合、別シートの選択式入力が入力動作しません。先にシート1を入力ください。

- 単年または複数年をご確認下さい。様式の種類によってシートの構成が一部異なります。

- 法人番号は「法人番号指定通知書」にて国税庁より各法人へ通知されている13桁の番号をご記入ください。

- 基準年度の算定・報告に関して責任を有する担当者をご記入ください。  
(参考)GXリーグ算定・モニタリング・報告ガイドライン P50

- 基準年度排出量/直近排出量を選択ください。  
(単年度版は基準年度排出量のみ選択可能)

- 基準年度を選択ください。
  - 単年の場合は2013年度以外選択不可
  - 複数年の場合は年度と対象の3か年を選択

- 別シートで記入の基準年度排出量の合計値が表示されます。この合計値がGXリーグでの基準年度排出量となりますので、ご確認ください。

# 様式4 | 基準年度排出量等報告書 - 直近排出量報告の場合 (シート1)

## 2. 直近排出量を申請する場合

- 超過削減枠の創出申請時、直近排出量の報告を様式4 (複数年度用) を使用して行うことが可能です。
- シート1が未入力の場合、別シートの選択式入力が動作しません。先にシート1を入力ください。

様式4 (Sheet1)

基準年度排出量等報告書-3カ年平均

2024年5月1日

GXリーグ事務局 殿

■ 参画企業	企業名:	株式会社GXL電機HD	
	法人番号:	1111111111111	
■ 算定・報告担当	責任者	サステナ太郎	
	部署名	経営企画部	
	役職名	課長	
	連絡先 (メールアドレス)	<a href="mailto:gx-elec-hd@gxl.co.jp">gx-elec-hd@gxl.co.jp</a>	
	連絡先 (電話)	090-1111-2222	

1. 申請対象となる排出量

直近排出量

2. 直近排出量の対象期間に関する情報

(1) 基準年度		年度
(2) 対象期間	2020 ~ 2022	年度

3. 直近排出量に関する情報

(1) 国内直接排出量	97,457	tCO2e
(2) 国内間接排出量	234,564	tCO2e

- 直近排出量を選択ください。
  - 単年度用では選択ができません。複数年度用を利用ください。

- (1) 基準年度は入力対象外となります。
- (2) 対象期間を選択ください。

- 別シートで記入の基準年度排出量の合計値が表示されます。この合計値がGXリーグでの基準年度排出量となりますので、ご確認ください。

## 様式4 | 基準年度排出量等報告書 - Group G向け単年の場合 (シート2)

(Sheet2) 法人単位での排出量等

参画企業 法人名	株式会社GXL電機HD
参画企業 法人番号	1111111111111

企業ID	組織階層2			直接排出量 (tCO <sub>2</sub> e)		間接排出量 (tCO <sub>2</sub> e)	
	法人番号	法人名	組織境界取込比率	2013	組織境界取込比率適用後	2013	組織境界取込比率適用後
K00001	1111111111111	株式会社GXL電機HD	100%	25,898	25,898	151,923	151,923
K00002	2222222222222	株式会社GXL家電販売	80%	6	4	19	15
K00003	3333333333333	株式会社GXLセミコン製造	50%	142,757	71,378	163,160	81,580
K00004	4444444444444	株式会社GXLリアルティ	100%	177	177	1,046	1,046
K00005				0	0	0	0
K00006				0	0	0	0
K00007				0	0	0	0
K00008				0	0	0	0
K00009				0	0	0	0

- 代表となる参画企業以外の、組織境界に含める法人名、法人番号、組織境界取込比率を入力ください (いずれも必須)。
  - 様式3の情報と同じ情報の入力となるようご注意ください。
  - 組織境界取込比率の考え方は「GXリーグ算定・モニタリング・報告ガイドライン」の第2章 組織境界の識別 2. 組織境界の設定基準をご参照ください。
  - 組織境界取込比率は整数%で入力ください。
- 企業ID：シート4の各シート名と対応します。 ※企業IDは、GXリーグ事務局にて集計上便宜的に割り当てたIDとなります。

- シート4で入力した法人毎の排出量が直接・間接排出量毎に自動集計されます。左に入力の組織境界取込比率が反映された組織境界取込比率適用後数値をご確認ください。
  - ※組織境界取込比率適用後数値については、小数点以下切り捨てで自動計算されます。
- 複数年度設定の場合、まずシート1で年度を選択ください。表頭の年度が反映されます。



# 様式4 | 基準年度排出量等報告書 - Group G向け単年の場合 (シート3)

(Sheet 3) 構造的変化の履歴 (加算・控除を行うもの)

参画企業 法人名	株式会社GXL電機HD
参画企業 法人番号	111111111111

■主体・客体

※主体となる法人は例えば株式を取得した法人や事業の譲受を受けた法人を指す

※客体は主体が取得した株式を発行している企業や事業譲渡の対象や移転された排出源を指す

■構造的変化のパターン：

※Aパターン…自社の排出量へ組み込まれる場合で、排出源が自社へ移転する場合

※Bパターン…自社の排出量から除かれる場合で、排出源が他社へ移転する場合

(参照) GXリーグ基準年度排出量等算定・報告ガイドライン9頁

No.	主体となる法人	客体	構造的変化のパターン	構造的変化の種類	(その他の場合記入)	対象階層	効力発生日 (yyyy/mm/dd)
1	株式会社GXL電機HD	株式会社GXLセミコン製造	Aパターン	株式取得		階層2	2017/4/1
2	株式会社GXLリアルティ	株式会社LXG不動産 オフィスビルB	Aパターン	事業の譲受け		階層3	2017/4/1
3	株式会社GXLセミコン製造	株式会社LXG半導体製造 京浜工場	Aパターン	吸収分割		階層3	2018/4/1
4							
5							
6							
7							

基準年度当時のバウンダリーと比較して構造的変化があり、基準年度の排出量データがあることから基準年度に含めたい場合には、対象となる構造的変化の情報を入力ください。

### 主体・客体

- 主体：株式等を取得した法人や事業譲渡を受けた法人等を指します。
- 客体：主体が取得した株式を発行した法人や事業譲渡の対象、移転された排出源を指します。

### 構造的変化のパターン

- Aパターン：自社の排出量へ組み込まれる場合で、排出源が自社へ移転する場合
- Bパターン：自社の排出量から除かれる場合で、排出源が他社へ移転する場合  
(参照) GXリーグ基準年度排出量等算定・報告ガイドラインP9

- 構造的変化の対象となる組織階層を選択ください。

- 階層2：法人単位
- 階層3：工場・事業所単位
- 階層4：排出源単位

- 効力発生日（構造的変化が生じた日）を記載ください。

# 様式4 | 基準年度排出量等報告書 - Group G向け単年の場合 (シート4-1/5)

(Sheet4-1) 階層2別排出量(組織境界取込比率反映前数量)2013年度分

参画企業 法人名	株式会社GXL電機HD
参画企業 法人番号	11111111111111
階層2 法人名	株式会社GXL電機HD
階層2 法人番号	11111111111111
企業ID	K00001

• 複数のシートがあるため、入力時に対象の階層2法人名をご確認ください

集計	株式会社GXL電機HD	加算	控除	合計
直接	25,898	0	0	25,898
間接	151,923	0	0	151,923
6.5ガス	0	0	0	0

加算・控除	
客体の名称:	
加算/控除:	
活用数値の種類	

• シート毎の排出量集計値をご確認ください。

• 加算・控除を入力 (P14で後述)  
 • 提出するエビデンス名を選択 (SHK制度報告書等)

	エネルギーの種類	単位	2013年度		加算・控除	
			株式会社GXL電機HD			
			活動量	CO2量 (tCO2e)		
燃料	原油 (コンデンセートを除く。)	kl		0		
	原油のうちコンデンセート (NGL)	kl		0		
	揮発油	kl		0		
	ナフサ	kl		0		
	灯油	kl		0		
	軽油	kl		0		
	A重油	kl	7,000	18,967		
	B・C重油	kl		0		
	石油アスファルト	t		0		
	石油コークス	t		0		
	石油ガス	液化石油ガス (LPG)	t	2,300	6,897	
		石油系炭化水素ガス	km3		0	
	可燃性天然ガス	液化天然ガス (LNG)	t		0	
		その他可燃性天然ガス	km3		0	
	石炭	原料炭	t		0	
		一般炭	t		0	
		無煙炭	t		0	
	直接排出	石炭コークス	t		0	
		コールタール	t		0	
		コークス炉ガス	km3		0	
高炉ガス		km3		0		
転炉ガス		km3		0		
その他の燃料	都市ガス	km3		0		
	推計値	GJ		0		
	ジェット燃料油	kl		0		
	ガソリン	kl	15	34		

**<直接排出量>**

- 赤色セル部分に燃料種別の活動量を入力ください。  
 • 例: 重油1,500kl
- 青色セル部分でCO2換算の排出量が自動計算されます。SHK制度に基づく単位発熱量・排出係数のデフォルト値が適用されます。  
 ※小数点以下切り捨ての整数値で自動計算されます。





# 様式4 | 基準年度排出量等報告書 - Group G向け単年の場合 (シート4-4/5)

SHK報告済み数値利用の場合

直接排出 (参考)	その他ガス	CO2 (非エネ)	tCO2e	活動量	CO2量 (tCO2e)
				CH4	tCO2e
		N2O	tCO2e		
		HFCs	tCO2e		9,920
		PFCs	tCO2e		53,703
		SF6	tCO2e		9,400
		NF3	tCO2e		6,118
		合計			79,141

### <その他ガス>

- SHK制度報告書におけるCO2換算数値を入力ください。

活動量ベースに記載の場合

直接排出 (参考)	その他の活動	その他ガス	二酸化炭素	非エネルギー起源	tCO2	活動量	CO2量 (tCO2e)
						メタン	tCH4
		一酸化二窒素	tN2O	0	0		
		ハイドロフルオロカーボン	トリフルオロメタン	tHFC-23	0	0	
			ジフルオロメタン	tHFC-32	0	0	
			フルオロメタン	tHFC-41	0	0	
			1・1・1・2・2・ペンタフルオロエタン	tHFC-125	0	0	
			1・1・2・2・テトラフルオロエタン	tHFC-134	0	0	
			1・1・1・2・テトラフルオロエタン	tHFC-134a	0	0	
			1・1・2・トリフルオロエタン	tHFC-143	0	0	
			1・1・1・トリフルオロエタン	tHFC-143a	0	0	
			1・2・ジフルオロエタン	tHFC-152	0	0	
			1・1・ジフルオロエタン	tHFC-152a	0	0	
			フルオロエタン	tHFC-161	0	0	
			1・1・1・2・3・3・ヘプタフルオロプロパン	tHFC-227ea	0	0	
			1・1・1・3・3・3・ヘキサフルオロプロパン	tHFC-236fa	0	0	
			1・1・1・2・3・3・ヘキサフルオロプロパン	tHFC-236ea	0	0	
		1・1・1・2・2・3・ヘキサフルオロプロパン	tHFC-236cb	0	0		
		1・1・2・2・3・ペンタフルオロプロパン	tHFC-245ca	0	0		
		1・1・1・3・3・ペンタフルオロプロパン	tHFC-245fa	0	0		
		1・1・1・3・3・ペンタフルオロプロパン	tHFC-365mfc	0	0		
		1・1・1・2・3・4・4・5・5・デカフルオロペンタン	tHFC-43-10mee	0	0		
		パーフルオロカーボン	パーフルオロメタン	tPFC-14	0	0	
			パーフルオロエタン	tPFC-116	0	0	
			パーフルオロプロパン	tPFC-218	0	0	
			パーフルオロシクロプロパン	tPFCycloPropane	0	0	
			パーフルオロブタン	tPFC-31-10	0	0	
			パーフルオロシクロブタン	tPFC-c318	0	0	
			パーフルオロペンタン	tPFC-41-12	0	0	
		パーフルオロヘキサン	tPFC-51-14	0	0		
		パーフルオロデカリン	tPFC-91-18	0	0		
		六心臓化硫黄	tSF6	0	0		
		三心臓化窒素	tNF3	0	0		
		合計			0		

### <その他ガス - 活動種別でその他ガス種別に報告をする場合>

- CO2換算前の各ガス種単位での排出量を活動量として入力ください。
- SHK制度の定める地球温暖化係数でCO2換算がなされます。
  - 地球温暖化係数は2023年12月の法令改正を踏まえた係数を適用するものとしていますが、その他係数を活用する場合はAS-AT列に係数を入力ください (赤色セル)
- ※ CO2量については小数点以下切り捨ての整数値で自動計算されます。

AQ	AR	AS	AT
地球温暖化係数 排出係数 (2023年度版)		地球温暖化係数排出係数 (その他年度のものを利用の場合記入)	
1	tCO2/tCO2		tCO2/tCO2
28	tCO2/tCH4		tCO2/tCH4
265	tCO2/tN2O		tCO2/tN2O
12,400	tCO2/tHFC-23		tCO2/tHFC-23
677	tCO2/tHFC-32		tCO2/tHFC-32
116	tCO2/tHFC-41		tCO2/tHFC-41
3,170	tCO2/tHFC-125		tCO2/tHFC-125



## 様式4 | 基準年度排出量等報告書

---

1. Group Gの記載方法
2. Group Xの記載方法

# 様式4 | 基準年度排出量等報告書 - Group X向け単年の場合 (シート1)

様式4 (Sheet1)

## 基準年度排出量等報告書—単年

2024年5月1日

GXリーグ事務局 殿

■参画企業	企業名:	株式会社GXL電機HD
	法人番号:	1111111111111
■算定・報告担当	責任者	サステナ太郎
	部署名	経営企画部
	役職名	課長
	連絡先 (メールアドレス)	<a href="mailto:gxl-elec-hd@gxl.co.jp">gxl-elec-hd@gxl.co.jp</a>
	連絡先 (電話)	090-1111-2222

## 1. 申請対象となる排出量

基準年度排出量

## 2. 基準年度に関する情報

(1) 基準年度 2013 年度

## 3. 基準年度排出量に関する情報

(1) 国内直接排出量	97,457	tCO2e
(2) 国内間接排出量	234,564	tCO2e

• Group Xは、様式4の提出時、SHK制度報告書または保証報告書等の証憑の添付は不要です。

• 単年または複数年をご確認下さい。様式の種類によってシートの構成が一部異なります。

• 法人番号は「法人番号指定通知書」にて国税庁より各法人へ通知されている13桁の番号をご記入ください。

• 算定報告書の作成やデータの管理・保管等の実施に責任を持ちます。  
(参考)GXリーグ算定・モニタリング・報告ガイドライン P50

• Group Xは基準年度排出量のみが報告対象となります。  
(超過削減枠を生み出すGroup Gの場合、直近排出量申請にも用いられます。)

• 基準年度を選択ください。  
 • 単年の場合は基準年度を選択  
 • 複数年の場合は加えて年度と対象の3か年を選択

• 別シートで記入の基準年度排出量の合計値が表示されます。この合計値がGXリーグでの基準年度排出量となりますので、ご確認ください。



## 様式4 | 基準年度排出量等報告書 - Group X向け単年の場合 (シート2)

(Sheet2) 法人単位での排出量等

参画企業 法人名	株式会社GXL電気HD
参画企業 法人番号	11111111111111

企業ID	組織階層2			直接排出量 (tCO <sub>2</sub> e)		間接排出量 (tCO <sub>2</sub> e)	
	法人番号	法人名	組織境界取込比率	2013	組織境界取込比率適用後	2013	組織境界取込比率適用後
K00001	11111111111111	株式会社GXL電気HD	100%	25,898	25,898	151,923	151,923
K00002	22222222222222	株式会社GXL家電販売	80%	6	4	19	15
K00003	33333333333333	株式会社GXLセミコン製造	50%	142,757	71,378	163,160	81,580
K00004	44444444444444	株式会社GXLリアルティ	100%	177	177	1,046	1,046
K00005					0		0
K00006					0		0
K00007					0		0
K00008					0		0
K00009					0		0

- 代表となる参画企業以外の、組織境界に含める法人名、法人番号、組織境界取込比率を入力ください (いずれも必須)
  - 様式3の情報と同じ情報の入力となるようご注意ください。
  - 組織境界取込比率の考え方は「GXリーグ算定・モニタリング・報告ガイドライン」の第2章 組織境界の識別 2. 組織境界の設定基準をご参照ください。
  - 組織境界取込比率は整数%で入力ください。
- 企業ID: GXリーグ事務局にて集計上便宜的に割り当てたIDとなります。

- 法人毎の排出量をこちらに直接入力します。(シート3,4はありません。)
  - ※組織境界取込比率適用後数値については、小数点以下切り捨てで自動計算されます。